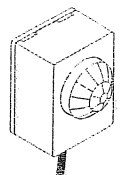
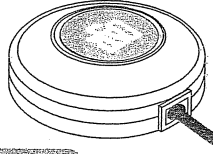


防犯

人感センサユニット
STC-S1662(別売)



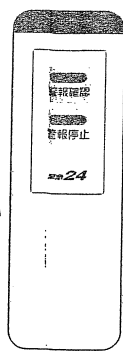
緊急釦ユニット
STC-B1667(別売)



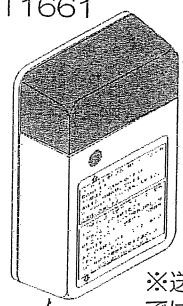
介護

火災

火災報知リモコン
STC-R1663(別売)
※移報接点付住宅用
火災警報器に接続し
て使用します。

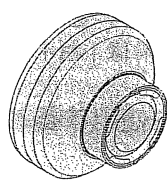


送信ユニット
STC-T1661
(別売)



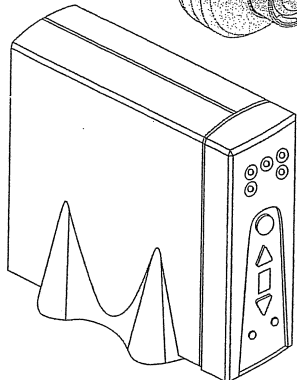
※送信ユニットは単独
では動作しません。
必ず3点のどれかと組
み合わせてください。

警報



威嚇警報機
(警報アラーム)
STC-R1665
[本機]

通報



通報装置
STC-C1660
(別売)

※他にも警報制御ユニット、呼出しアラームという製品があります。

安全にお使いいただくために



- ・万一、煙が出ています。変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電等の原因になります。すぐに取り付けているコンセントから製品を抜き取り、煙・変な臭いなくなるのを確認してから販売店へ調査・修理をご依頼ください。
- ・グラグラするような取付けの悪いコンセントや歩行中に蹴りとはばすような位置にあるコンセントには設置しないでください。また取付けは、製品本体のACプラグをコンセントに確実に差し込んでください。コンセントのがたつき、製品の抜け落ちにより、火災・感電・故障の原因となります。
- ・万一、製品に水がかかった場合は、コンセントから抜き取り、お買い上げの販売店へご相談してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- ・指定された電源電圧(AC100V、50/60Hz)以外の電圧では使用しないでください。
- ・火災・感電の原因となります。
- ・この製品は屋内専用です。屋外や風呂場などの水のかかる場所への設置は絶対しないでください。火災・感電等の原因となります。
- ・この製品には紙・布をかぶせて使用しないでください。火災の原因となります。
- ・本体が落下するおそれのある場所への設置はしないでください。製品の損傷、ケガの原因となります。
- ・コンセントおよびテーブルタップに本体をタコ足配線しないでください。火災・感電・火傷の原因となります。



- ・ガステーブルの付近や高温になる場所では使用しないでください。
- ・湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ・直射日光の当たる所に設置しないでください。長時間のうちに変形・故障の原因となります。
- ・ぬれた手で本体を抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- ・乳児、幼児が手でさわらないようご注意ください。感電の原因となります。



- ・お客さまご自身でこの製品のネジを緩めたり、分解や修理は絶対しないでください。火災・感電・けがの原因となります。また、性能維持ができなくなり、故障の原因となります。



- ・お手入れの際には、ベンジン、アルコール、シンナー、塩基性洗剤、クレゾールなどの薬剤や、タワシ、みがき粉などは使わないでください。変色、変形、変質、傷、及び性能の劣化などの原因となります。お手入れは柔らかい、乾いた布で軽く拭き取ってください。



- ・室温が-10℃～40℃の範囲内でご使用ください。火災・感電・製品の損傷の原因となります。
- ・長期間この製品をご使用にならないときは、安全のため必ず本体をコンセントから抜いてください。

使用上の ご注意とお願い

- 一般家庭用のため規模の大きな建物によっては、動作しにくい場合があります。また、屋内配線の方式や距離によって動作しにくい場合もあります。コンセント間の屋内配線距離は100m以内を目安にしてください。
- 単相3線式の場合は、同じ相(回路)内でご使用ください。相が異なると動作しないことがあります。
- 家庭内でご使用の電化製品などのノイズにより誤動作する場合があります。
- 家庭内でご使用の電化製品などの影響で動作しにくい場合があります。
- フィルター付のテーブルタップでは動作しない場合があります。
- 強い衝撃を与えないでください。火災・故障の原因となります。
- 防水・防滴構造ではありませんので湿気が多い場所や水のかかる場所への設置は避けてください。
- 停電時は動作しません。
- 本製品は日本国内のみでご使用ください。
- この製品をご使用中に遭われた盗難、物損等の被害については、弊社は一切の責任を負いかねます。ご了承ください。

アフターサービス について

- 保証書は国内に限られています。本製品は国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。
- 保証書
 - この製品には保証書が添付されています。(直販の場合は未記入でも有効です。)
 - 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理させていただきます。
- 部品の交換について
 - この商品は修理の際、交換した部品を再生・再利用する場合があります。
 - その際、交換した部品はご同意をいただいたうえで回収させていただきますので、ご協力ください。

緊急24 ツーカー

威嚇警報機 (警報アラーム)

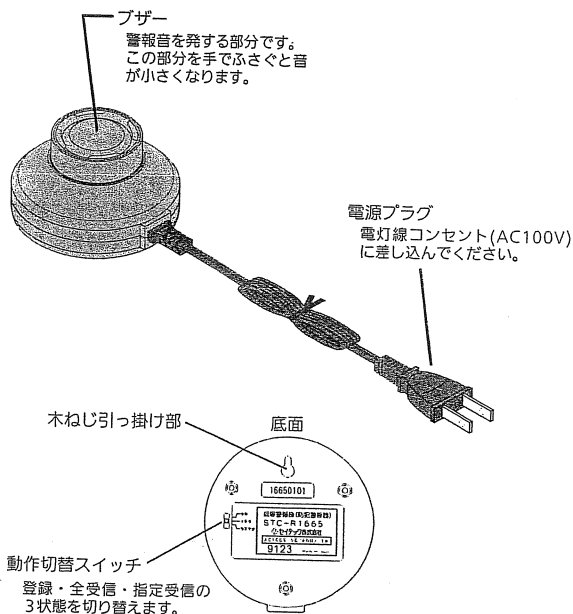
取扱説明書

- 取扱説明書に従った正常な使用方法で、保証期間内に故障した場合は、無償修理致します。
- 保証期間中でも、次の場合には、有償修理となりますので、ご了承ください。
 - ア) 使用上の誤りや改造、不当な修理による事故または損傷。
 - イ) お買い上げ後の輸送、取り付け場所の移動、落下等による事故及び損傷。
 - ウ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、その他の外部要因による故障及び損傷。
 - エ) 一般家庭用以外に使用された場合の故障及び損傷。
 - オ) 接続する他の機器の異常により生じた故障及び損傷。
 - カ) 本保証書の提示がない場合。
- この製品は日本国内のみでお使いください。

SFT1665A

このたびは「緊急24 ツーカー 威嚇警報機」をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただいた上で、正しくご使用ください。
本説明書は、いつでも見られる所に保管しておいてください。

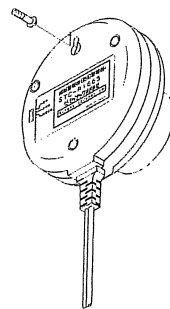
●各部の名称



●設置方法

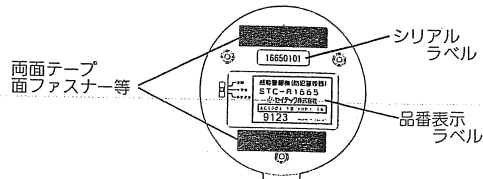
・木ねじで固定する場合

市販の木ねじを壁面にねじ込み、ねじの頭部分を製品裏面の引っ掛け部に掛けてください。
(推奨ねじ: ねば頭6φ軸径3φ)



・市販の両面テープや面ファスナーで固定する場合

両面テープまたは面ファスナーを製品裏面に貼り付けて、壁面等に固定してください。



●仕様

品名・品番	威嚇警報機 STC-R1665H
寸法	直径90mm×高49mm (電源コード部を除く)
定格	1W
電源	AC100V 50/60Hz
重量	190g

※注：製品仕様は予告なく変更する場合があります。

※テープ類は製品の重量に十分耐えられるものをご使用ください。
※テープ類は品番表示ラベルやシリアルラベルの上には貼らないでください。

威嚇警報機を動作させてみましょう

送信ユニットと下図どれかの動作アイテムを組み合わせて、威嚇警報機と同じコンセントに差し込みます。威嚇警報機底面のスイッチを「全受信」の位置にしておいてください。

送信ユニットの検知ランプが約30秒点灯し消灯に変わります。

※この時間は人感センサの赤外線を検知する部品が安定するまでの待機時間です。

また、威嚇警報機は約2分間「プップッ」という待機音を出します。

※この時間は威嚇警報機をセットして外出する場合の待機時間です。この間は警報動作をしないようになっています。

待機音が止まったら、以下の操作を試してみてください。

注意 かなり大きな音が出ます。周りの人が驚いて慌てないように気をつけてください。

※威嚇警報機のブザー面を手で押さえるか、下にして机などに置くと音が小さくなります。

注意 警報を停止するスイッチは有りません。火災報知リモコンの場合は「警報停止」ボタンで停止させることができますが、それ以外の場合はコンセントから電源プラグを抜いてください。

※送信ユニットは送信開始後約7秒間はリモコン等の操作を受け付けません。検知ランプが消灯してから操作してください。

動作アイテム:
火災報知リモコン(STC-R1663H:別売)
※リモコン本体に火災感知機能は
ありません。

火災報知リモコンを送信ユニットの方向
に向けて「警報確認」釦を押します。

威嚇警報機が即時に「ウーウー」とサイ
レンのような非常警報音を出します。

送信ユニット(STC-T1661H:別売)

動作アイテム:
緊急釦ユニット(STC-B1667H:別売)

緊急釦ユニットの「呼」と書かれた釦を押
すと釦が緑色から赤色点滅に変わります。

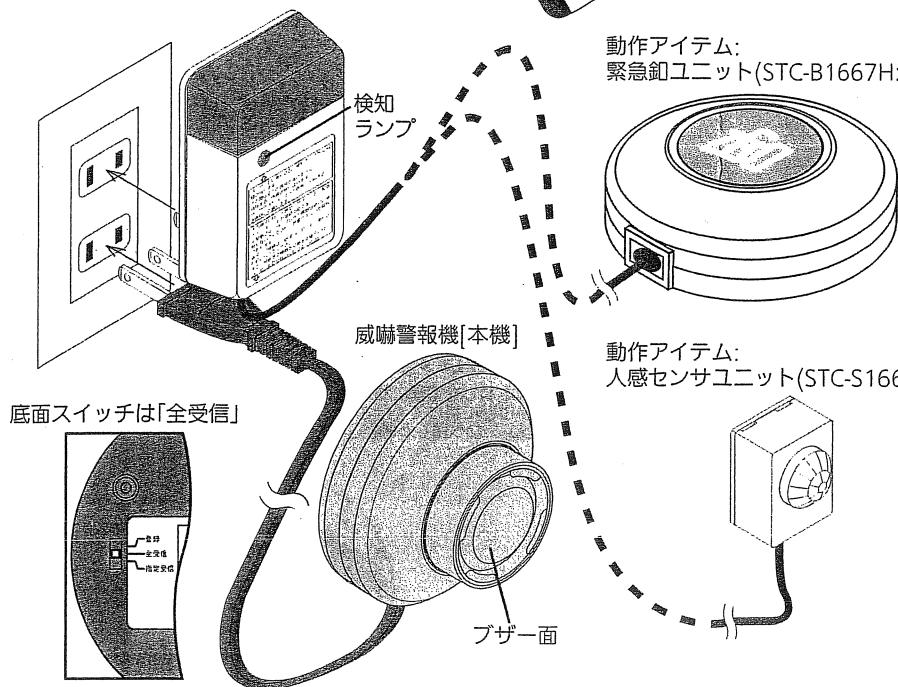
一息おいて、威嚇警報機が
「キュピッキュピッ」と非常呼出し音
を出します。

動作アイテム:
人感センサユニット(STC-S1662H:別売)

人感センサユニットの前で手を振ると、

威嚇警報機が「プップッ」と約30秒間
警報予告音を出します。

※これは帰宅時に人感センサに検知され
てしまった時、威嚇警報機が鳴り出す前
に電源を切ることを促す音です。
予告音が終わると「ピーッピーッ」と
と侵入警報音を出します。



実際にお使いになる場所で確認しましょう

送信ユニット+動作アイテムと威嚇警報機をそれぞれ実際に使いたい場所付近のコンセントに差し込みます。前項と同じ方法で操作し威嚇警報機が鳴ることを確かめておいてください。

注意 この製品は住宅内電力線の中で通信を行っているため、さまざまな障害を受けることがあります。残念ながら使えないコンセントも有るかもしれません。設置位置を変えても全くお使いになれない場合は販売代理店にご相談ください。

例えば・・・

近くで電子レンジを使っていると動作しない。→ 電子レンジからノイズが出ている。

パソコンをつかっているコンセントでは動作しない。→ パソコンの電源に入っている
フィルターで信号が吸収される。

1階で動作するのに2階に持っていくと鳴らない。→ 1階と2階のコンセントが配電盤で
別の系統になっている。

送信ユニットの登録と指定受信

威嚇警報機は、1台だけ送信ユニットを登録(ペアリング)することができます。
底面のスイッチを「指定受信」に切り替えると、登録した送信ユニット以外の信号を受け付けなくなります。
※送信ユニットは1台1台異なったIDコードを持っていて、それによって判別ができるのです。

この機能を使用すると次のようなメリット/デメリットがあります。

[メリット]

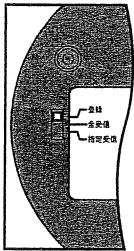
- ・誤って警報が鳴る確率が格段に少なくなります。(理論的には約42億9千万分の1になります。) 住宅内電力線は本来通信線として設計されておらず、モーター機器やインバーター電源といったノイズ源と共存しなくてはならない宿命にあります。通信信号とノイズは似ても似つかぬ物ですが、本製品はまれに非常によく似た形のノイズによって誤動作させられることがあります。その可能性が、皆無に近くなります。
- ・複数の送信ユニットを同時に別々の用途に使うことができます。
1台目を威嚇警報機と組み合わせて侵入警報に、2台目は通報装置と組み合わせて介護通報に…
- ・集合住宅での隣家との混信を防ぐことができます。
アパート等で電力線を共用しているような場合、隣家も同じ装置を使用していると隣からの信号で呼出し音が鳴ってしまうことが起こり得ます。それを防止することができます。

[デメリット]

- ・使用する電力線にノイズの多い環境の場合、ノイズによる通信障害を受けやすくなります。
IDコードを判別する精度を上げているため、一瞬のノイズで違うIDコードと判断することがあります。
送信ユニットはそうした障害に対処するために最大で7回の信号送信をするようになっています。

『登録方法』

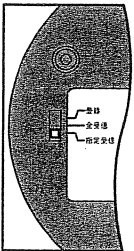
底面スイッチは「登録」



- ①前ページと同じ要領で送信ユニット+動作アイテムと威嚇警報機を同じコンセントに差し込み、待機状態が終わるのを待ちます。
 - ②底面のスイッチを「登録」に切り替え、動作アイテムで送信ユニットを動作させます。
 - ③威嚇警報機から「プッ」という音が1回だけ鳴ります。聞き逃しても「指定受信」モードで動作すれば問題ありません。
これで登録が終了しました。
- ※「登録」モードで他の送信ユニットの信号を受けない限り登録したIDコードは電源プラグを抜いても消えません。

『指定受信設定』

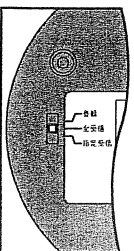
底面スイッチは「指定受信」



- 底面のスイッチを「指定受信」に切り替えます。
これで「指定受信」モード待機の状態になりました。
ペアリングさせた送信ユニットからの信号だけ受けて警報動作します。
※底面スイッチが「登録」位置のままでは警報動作はしません。

指定受信を解除するには

底面スイッチは「全受信」



複数の送信ユニットのどれからでも警報を鳴らしたい場合には「全受信」モードにします。

底面のスイッチを「全受信」に切り替えます。
これで「全受信」モード待機の状態になりました。
同じ電力線回路内全ての送信ユニットからの信号を受けて警報動作します。
学生寮の管理人室や共用スペースで各部屋の異常を一括で警戒する場合などに使用できます。